

授業科目名	論理学	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)		時期
	1年次1学期		
科目目標	1. 状況に応じた言葉・用語を選択し使うことができる。 2. 記述されたものを読み、要旨を把握することができる。 3. 相手に伝わるように口述・記述で表現することができる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 論理学とは	講義	
	2. 思考するとは	講義	
2	1) 帰納的思考	講義	
3	2) 演繹的思考	講義	
4	3) 現象を捉える	講義	
5	4) 推論	講義	
6	5) 判断	講義	
7・8・9・10	3. 論理的表現とは 1) 記述する 論文、作文、レポートの特徴 文章の構成・優先するものを考える 論文、作文、レポートを書く 記述されたものを要約する	講義・演習	
11～14	2) 言葉で伝える 話す内容と優先するものを考える 話す順序を考える 使用する言葉を選択する	講義・演習	
15	修了試験		
評価方法	「筆記試験(最終)」と「クラス内での積極的参加」		
必須図書 参考図書等	資料配布あり。		
履修上の 注意			
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	人間工学	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 1学期
科目目標	1. 人間の行動に関する物理化学的な基礎知識を習得できる。 2. 看護援助の中で作業や作業者の負担を減じ、安全性の向上に応用しうる能力が習得できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 力学入門	講義・演習	
2	2. 力のつりあいと合力	講義・演習	
3	3. 単位の話	講義・演習	
4	4. トルクの知識	講義・演習	
5	5. 重心と安定さ	講義・演習	
6	6. 牽引	講義・演習	
7	復習とまとめ および 中間試験	筆記試験	
8	7. 温度と比熱	講義・演習	
9	8. 圧力と大気圧	講義・演習	
10	9. 血圧測定と点滴	講義・演習	
11	10. 光の性質	講義・演習	
12	11. 光学の応用	講義・演習	
13	12. 放射線	講義・演習	
14	13. 放射線の応用	講義・演習	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験(中間試験50%および修了試験50%)の結果にて総合評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】平田雅子 完全版ベッドサイドを科学する 完全版 学研		
履修上の 注意	看護技術には、物理的な根拠・理由が多々あります。 その技術の根拠を理解するためにもこの科目で原理をしっかりと理解しましょう。		
備考	※ 毎回、講義のなかに簡単な演習を交えて行う。		

授業科目名	情報科学	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	2年次 1学期
科目目標	1. 情報および情報の取り扱い時の注意点について理解できる。 2. コンピュータによる文書の作成、検索方法、プレゼンテーションへの活用技術を習得できる。 3. 基礎的な統計処理の手法を習得できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. コンピュータの利用技術	講義・演習	
2-3	1) インターネットの活用(E-mail, WWW)と安全管理		
4	2) 表計算(MS-Excel)	講義・演習	
5-6	3) プレゼンテーション(PowerPoint)		
7	4) 文書作成(MS-Word)	講義・演習	
8	5) 医療・看護におけるコンピュータの実際		
8	2. 統計学の基礎	講義・演習	
9	1) 統計の基礎概念		
10	2) 正規分布	講義・演習	
11	3) 散らばりの尺度		
12	4) 平均の区間推定	講義・演習	
13	5) 仮説検定の概念		
14	6) 平均の仮説検定	講義・演習	
15	7) 分割表の検定		
15	まとめ、修了試験	レポート課題提出	
評価方法	レポート課題(90%)および演習に取り組む態度(10%)にて総合評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】石村貞夫 すぐわかる統計解析 東京図書 井田正道他 情報リテラシーテキスト 培風館		
履修上の 注意	情報管理の徹底のため、パソコンに個人のデータは残さない。 データ保存は、電子媒体を利用すること。		
備考	情報管理の基盤を養う。		

授業科目名	心理学	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 1学期
科目目標	<p>看護はあらゆる健康状態、成長発達段階の個人・家族・集団、地域社会が対象である。さまざまな状態にある人間の心の原理を把握することを目指す。</p> <p>1. ころのしくみやはたらきについて理解し、様々な視点から総合的に人間を理解できる。</p> <p>2. 自分や他者のころあるいは行動を科学的・分析的に見つめる態度を形成できる。</p>		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 心理学とは	講義	
2	2. 知覚	講義・演習	
3	3. 記憶	講義・演習	
4	4. 学習	講義・演習	
5	5. 動機づけ	講義・演習	
6	6. パーソナリティ	講義・演習	
	1) パーソナリティのとらえ方		
7	2) 適応、不適応		
8	3) パーソナリティの測定		
9	7. 発達	講義・演習	
	1) 発達の概念、理論		
10	2) 各発達期の特徴		
	(1) 乳児期 (2) 幼児期		
11	(3) 児童期 (4) 青年期		
12	(5) 成人期 (6) 老年期		
13	8. 対人行動	講義・演習	
14	9. 集団行動	講義・演習	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	(1)筆記試験 (2)レポート (3)講義・演習時の学習態度にて総合評価する。		
必須図書 参考図書等	<p>【必】石田潤 ダイアグラム心理学 北大路書房</p> <p>【参】藤本忠明他 ワークショップ心理学 ナカニシヤ書店</p> <p>古城和敬他 あなたのころを科学するVer3 北大路書房</p> <p>その他必要な資料を適宜配布</p>		
履修上の 注意			
備考	<p>各回、演習を取り入れ実施する。</p> <p>学生自らが実際に体験し考えることで、知識のより深い理解を求めると同時に、ころを科学的・分析的に見つめる態度を養うことを目指す。</p>		

授業科目名	カウンセリング理論	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 1学期
科目目標	<p>看護の対象である人間に対し、専門職業的援助関係を形成し、対象と意図的に係わるために必要な理論とその技法について学ぶ。</p> <p>1. カウンセリングの基本条件とカウンセリングの過程について理解できる。 2. カウンセリングの事例を通してカウンセリングの技法について理解できる。</p>		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. カウンセリングとは何か	講義・演習	
2	2. パーソナリティ(性格)とカウンセリング技法	講義・演習	
3	3. 種々のカウンセリングの技法と理論	講義・演習	
4	4. 話し方と聴き方	講義・演習	
5	5. 心理学的アセスメント	講義・演習	
6	6. カウンセリングの過程	講義・演習	
7	7. 秘密を守ることの大切さ ー守秘義務と倫理ー	講義・演習	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	<p>出席、提出物、レポート、授業への参加態度および筆記試験の結果にて総合評価する。 * 評価の大部分は授業への出席・参加態度・レポートの提出などにより行う。 欠席、レポート未提出等の場合は、理由に関わらず講師に申し出ること。 無届での欠席、レポート未提出等は、即時単位修得が困難となる点、留意すること。</p>		
必須図書 参考図書等	<p>【必】瀧本孝雄 カウンセリングへの招待 サイエンス社 【参】東山紘久 カウンセラーへの道ー訓練の実際 創元社</p>		
履修上の 注意			
備考	<p>他人と向き合うだけでなく、自分のこころと向き合うことがこの授業では不可欠である。 人間の可能性や限界などについて、考える場とする。 講義において、ロールプレイ、グループ討議、課題学習を通して理論的理解を深めていく。</p>		

授業科目名	社会学	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 2学期
科目目標	1. 社会学一般の基礎的な理論や方法、及び健康・病気と保健医療の社会学(医療社会学)の理論と方法について理解できる。 2. 現代社会と保健医療の世界における様々な問題や動向に注目し、健康と社会とのかかわりについて考えることができる。 3. 医療行為について自己の考えをより深めることができる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	医療と社会について	講義	
2	社会学の基礎概念1	講義	
3	社会学の基礎概念2	講義	
4	社科学的視点とモデル	講義	
5	健康・病気行動と病体験 一病者の視点、病人役割、病気行動、病経験の視点から一	講義	
6	患者一医療関係者とコミュニケーション 一患者一医療者関係に注目して一	講義	
7	保健医療の専門職一専門職支配システムの観点から一	講義	
8	メディアと「病」 一「病」の語り／語られ方一	講義	
9	性・ジェンダー・家族と保健医療一ジェンダーと医療、ジェンダーと家族一	講義	
10	地域社会と保健医療一地域と医療、社会関係資本とは一	講義	
11	医療保険制度への社会的アプローチ	講義	
12	健康・病気の社会格差一格差社会論、保健医療における格差を観る一	講義	
13	ケアと医療:新しい地平を求めてその1一ケアと医療一	講義	
14	ケアと医療:新しい地平を求めてその2一総括;これからの医療と社会の課題一	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験にて評価する。		
必須図書 参考図書等	資料配付あり 【参】中川輝彦他 よくわかる医療社会学 ミネルヴァ書房		
履修上の 注意			
備考	我が国の社会動向を、さまざまな教材を用いながらの演習を通し、人間の社会の構造や機能について考察していく。		

授業科目名	行動科学 I	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(15/30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 1学期
科目目標	1. 「自己理解」「他者理解」を軸に、ワークショップ、体験学習を通して五感を使って人間行動を理解できる。 2. 看護職をめざす自分の人間性をみつめ、自分の人間的成長発達課題を明らかにできる。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2	1)自己理解と他者理解 2)傾聴	体験型ワークショップ	
3・4	3)ワークショップ「ブラインドウォーク」 4)ワークショップ「グループ討議」	演習	
5・6	5)人間のライフサイクルと人間的成長発達課題 レポート「自分の成長歴を振り返る」	レポート	
7・8	6)終了試験 7)振り返りのワークショップと面談	筆記試験 面談	
評価方法	出席状況、授業態度、レポート、筆記試験にて総合評価を行う。		
必須図書 参考図書等	資料配布あり。		
履修上の 注意			
備考	他に土遊野農場で『生命のぬくもり体験』の演習を行う。 体験後は学びをレポートにまとめる。(4時間)		

授業科目名	行動科学Ⅰ	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 1学期
科目目標	<p>1. 「自己理解」「他者理解」を軸に、ワークショップ、体験学習を通して五感を使って人間行動を理解できる。</p> <p>2. 看護職をめざす自分の人間性を見つめ、自分の人間的成長発達課題を明らかにできる。</p> <p>3. 私たちの行為を支える倫理と規範について、私たちが抱く道德に関する信念について、西洋の哲学・倫理学が扱ってきた方法・問題を検討します。</p> <p>4. いくつかの特徴的な事例を挙げ、背景となる歴史を顧慮しつつ、価値、動機、自由、責任、義務、権利、正義、善悪、掟、規則、法、そして徳などの諸概念が行為を軸に結びつき意味を持つ事情を明らかにします。さらに性差をめぐる混乱や閉じ込められ症候群、環境問題などの身近な具体例も取り上げて、いま現在私たちが抱えている問題を正しく「問い」として立てる訓練を積んでいきます。</p> <p>5. 様々な生き物が暮らすこの世界で、正しくふるまい、よい行為をなすために必要な知性を養います。過去に学び未来への責任の持ち方を各自で身につけることが目標です。</p>		
回数	授業内容	教育方法	
1・2	1) 自己理解と他者理解	体験型ワークショップ	
3・4	2) 傾聴 3) ワークショップ「ブラインドウォーク」 4) ワークショップ「グループ討議」	演習	
5・6	5) 人間のライフサイクルと人間的成長発達課題 レポート「自分の成長歴を振り返る」	レポート	
7・8	6) 終了試験 7) 振り返りのワークショップと面談	筆記試験 面談	
9	「倫理」とは何か、なぜ「倫理」が問題になるのか	講義	
10	倫理や道德を支えるのはなにか	講義	
11	器量と心根、社会と権利、価値と目的	講義	
12	自由と義務 正義の根拠、善悪の根拠	講義	
13	行為と規則、信念	講義	
14	信念と法 世界と力の構造について	講義	
15	人間の自然 生の場としての環境 楽しい世界	講義 講義	
評価方法	出席状況、授業態度、レポート、筆記試験にて総合評価を行う。		
必須図書 参考図書等	資料配布あり。		
履修上の 注意			
備考	他に土遊野農場で『生命のめぐもり体験』の演習を行う。 体験後は学びをレポートにまとめる。(4時間)		

授業科目名	人間関係技術Ⅰ	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	15時間
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 1学期
科目目標	1. 看護実践にて、安心と信頼を築く人とのかかわり方の知識と対人技能を習得できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	・医療スタッフとしてのサービスマインド ホスピタリティーマインド サービス社会での対応力	講義・演習	
2	・医療人としての接遇マナー マナーの重要性 マナーがつくる医療イメージ	講義・演習	
3	・マナーのスキルアップトレーニング 第一印象のきめて 挨拶 身だしなみ 感じのよしさ	講義・演習	
4	・信頼関係を築く言葉づかい ・自己理解を深める	講義・演習	
5	・医療コミュニケーションの基本 コミュニケーションとは 医療現場での人間関係づくり	講義・演習	
6	・ビジネスコミュニケーションの実践 命令指示の受け方、報告の仕方 電話対応 説明力	講義・演習	
7	・コミュニケーションスキルUP 好意的人間関係づくり 気づきの大切さ	講義・演習	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	・試験及びワークへの取り組み、レポート、授業への参加状況を総合的に判断して行う		
必須図書 参考図書等	配付資料あり		
履修上の 注意			
備考	看護において、良い人間関係、患者-看護師関係を形成する上で基本的なマナーが重要となる。 サービス業におけるマナーを通して、応対の方法、身だしなみ、立ち振る舞いを身につけ、円滑な看護実践につなげる基盤を育てる。		

授業科目名	人間関係技術Ⅱ	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次2学期
科目目標	1. 論理的な思考に基づく討議力と表現方法の基礎を習得できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2	1. プレゼンテーションの方法 1) 体験を語る 2) 計画を説明する 3) 制限時間内に伝える	講義・演習	
3・4・5	2. 討議する 1) 討議の進行 討議の目的を知る 相手の意見を聴く 相手の話の内容を理解する 自分の考えをまとめ、伝える 自分の感情に気づく 時間内に結論を導く 2) 参加者の役割 1) 司会者の役割 2) 参加者の姿勢	講義・演習	
6・7	3. 論理的に主張する ディベートの方法	講義・演習	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験(80%)、演習課題(20%)にて評価する。		
必須図書 参考図書等	資料配布あり。		
履修上の 注意			
備考	看護において、患者－看護師関係のみならず、看護職や他職種においても良い人間関係を形成することは重要である。グループワークや臨地実習において、発展的な学びを得ることができるような基盤を養う。		

授業科目名	日常英会話	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	1年次 1学期
科目目標	外国人労働力を活用する企業が存在する昨今、外国人を看護することも起こりうる。県下では、東アジア中南米系人が多いが、国際語として英語を学ぶ。 1. 英語に興味・関心を持ち、国際社会に対応する語学の基盤を養うことができる。 2. 日常生活に即した英会話に親しみ、文法の理解のみならずオーラルコミュニケーションを強化できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 授業ガイダンス(授業内容の説明および注意点説明) Parts of the Body	講義・演習	
2	Unit1 自己紹介から始めましょう	講義・演習	
3	Unit2 患者さんに質問しましょう	講義・演習	
4	Unit3 場所や方向は正しく教えましょう	講義・演習	
5	Unit4 患者さんの具合を聞きましょう	講義・演習	
6	Unit5 診察時に必要な言い方を覚えましょう	講義・演習	
7	Unit6 相手によく確認しましょう	講義・演習	
8	Unit7 行為をうながす言葉をかけましょう	講義・演習	
9	Unit8 的確な指示や依頼をしましょう	講義・演習	
10	Unit9 食べ物に関する言い方を覚えましょう	講義・演習	
11	Unit10 薬に関する言い方を覚えましょう①	講義・演習	
12	薬に関する言い方を覚えましょう②	講義・演習	
13	Unit11 患者の要望に答えましょう	講義・演習	
14	Unit12 治療方針について説明しましょう	講義・演習	
15	まとめ、修了試験	講義・筆記試験	
評価方法	筆記試験(90%)および演習の取り組み(10%)にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】古閑博美他 キュアとホスピタリティの英語 I 鷹書房弓プレス		
履修上の 注意	辞書(英和もしくは英英辞典)を必ず準備し、講義に持参する。 注: 電子辞書ではないほうが、望ましい。 hearing練習、oral practiceを重視する。積極的な講義参加を心がける。 まずは、重要センテンスおよび専門用語を暗記すること。		
備考	※ 必須テキストのほかに、平易なEssayを読むことがある。その折には適宜プリントを配布する。 ※ リスニングも交えますので、毎回、CDプレーヤーを準備すること ※ シラバスのスケジュールは変更の場合がある。		

授業科目名	臨床英会話	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	2年次 2学期
科目目標	1. 医療現場で想定される英会話に的を絞り、外国人患者とのコミュニケーションに必要な英語の基本表現習得、英語運用能力を習得できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1~4	1. 外国人外来患者への対応 Unit1 受付の場面 Unit2 外来診療 Unit3 問診 Unit4 検査	講義・演習	
5~15	2. 外国人入院患者への対応 Unit5 入院 Unit6 手術 Unit7 病室	講義・演習	
(8)	Unit1~7 まとめ、中間試験 (1h) Unit8 要望 Unit9 食事 Unit10 入浴 Unit11 リハビリテーション Unit12 退院 Unit13 薬局 Unit14 支払い Unit15 セラピー	筆記試験 (ヒアリングあり) 講義・演習	
(15)	修了試験	筆記試験 (ヒアリングあり)	
評価方法	筆記試験(中間試験50%および修了試験50%)の結果にて総合評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】古閑博美他 キュアとホスピタリティの英語 I 鷹書房弓プレス		
履修上の 注意			
備考	ロールプレイングレッスンや会話練習を通してコミュニケーションの大切さを体験し、英語圏の患者への看護場面を想定した演習を通して実践力を養う。 ※ リスニングも交えますので、毎回、CDプレーヤーを準備すること。		

授業科目名	保健体育	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)		時期
	1年次 2学期		
科目目標	<p>人間の健康の維持・増進の有効な手段として、身体活動は重要な意味を持つ。私達人間が豊かな生活を営むための基礎知識として、人体および日常生活の運動との関係を学ぶ。</p> <p>1. 現代社会の人々にとってのスポーツの意義について理解できる。 2. 運動と日常生活の関係を理解できる。</p>		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 健康増進と運動	講義	
2~4	2. 健康にかかわる身体能力の評価 ストレッチ、サーキットトレーニング	講義・演習	
5	3. ライフサイクルと運動	講義	
6	4. 運動処方	講義	
7	5. 運動と栄養	講義	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験(90%)、演習の取り組み(10%)より総合的に評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】今村裕行他 イラスト健康増進科学概論 東京教学社		
履修上の 注意	健康等に注意し、自己管理の能力を身につける。		
備考			

授業科目名	保健体育・実技	区分	基礎分野
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	2年次 1学期
科目目標	<p>健康の維持・増進の有効な手段としてスポーツを通して自身の健康管理に役立てるとともに、団体競技を通し、リーダーシップ・メンバーシップを養う機会とする。</p> <p>1. 運動理論を踏まえ、実技では、健康と体力づくりのためのトレーニング方法、運動後の疲労回復や身体のケアを理解できる。</p> <p>2. 自主性・協調性・責任感を養い、身体・精神・社会的に良好な全人的健康=「ウエルネス」を獲得できる。</p>		
回数	授業内容	教育方法	
1~2	1. 導入 1) スポーツの意義、健康と体力の関連について考える 2) 健康づくりのための運動の必要性について考える	講義・演習	
3~14	2. 展開 学校の施設・用具を活用し、自己の健康の維持・増進を図る。 1) バレーボール 2) バスケットボール 3) バドミントン 4) 卓球 5) その他	演習	
15	修了試験	実技試験 レポート	
評価方法	レポート(30%)および実技試験(30%)、参加状況(40%)より総合的に評価する。		
必須図書 参考図書等	資料配布あり。		
履修上の 注意	健康等に注意し、自己管理の能力を身につける。		
備考			